

議事

1 科学館の概要説明・視察

＜事務局から科学館施設の概要を説明し、館内と夏の特別展の視察を行った。＞

【委員】

夏の特別展示については、前期の「食を科学する」は入場者が多かったようだ。食品サンプル体験も参加者が多かった。中期の「スポーツを科学する」は利用者が少ないようだが、後期の「科学捜査展」には期待したい。

【指定管理者】

前期の「食を科学する」は夏休み前の7月12日から28日までで、夏休み前から開催したが、夏休みに入ると入場者も増えた。入場者は食品サンプルに興味をもち、食品サンプルをもとに栄養のバランスを計測する機器が今回の目玉であった。また、食品サンプルを使って写真撮影をするスペースも設け、子どもから大人まで楽しんでいただけたと思う。

中期の「スポーツを科学する」については、本日は入場者は少ないが、昨日は大勢の方に入場いただいている。実際に体を動かして体験できるので、子どもも大人も楽しんでいただけていると考えている。

後期の「科学捜査展」も、皆さんに楽しんでいただけるような展示にしたいと考えている。長崎県警察署の鑑識の部門の方に協力を得て、お仕事体験の教室を開く予定としている。

【委員】

科学捜査展は、長崎県警の方に協力を得ることとなっているのか。

【指定管理者】 特別展示自体ではなく、科学捜査展に関連して行うイベントに協力をいただく。鑑識業務を行っている方を招き、実際の鑑識体験ができる教室を開催することとしている。

【委員】

外部機関の協力を得ながら、本物の体験をしていただくということと理解する。大変よい取り組みだと思う。

【委員】

3階展示室奥の部屋について、映像が投影されているようだが利用者が少ないようだ。どのような展示を行うスペースなのか。

【指定管理者】

以前はロケット打ち上げの映像を投影していた。活用方法について検討していく。

【委員】

3階のエレベーター前に書籍が置いてあるが、平成や昭和発刊など、だいぶ古い物のようだ。昭和の書籍が悪いとは言わないが、定期的に入替などは行っているのか。

【教育委員会】

市の直営時代の書籍などを継続して置いている状況である。

今後は、市立図書館で役割を終えた書籍のうち科学に関する書籍などを活用し、図書の充実を図っていきたい。

【委員】

展示室の花火の映像装置について、花火が上がる映像の際に、「ヒュルヒュル」や「ドカ

ン」などの音を臨場感がでるよう大きくしてほしい。

【教育委員会】

花火の映像装置は、選んだ火薬の種類によって花火の色が変わることで炎色反応を学ぶことができる装置である。音量については設定を確認したい。

また、映像はプロジェクターで投影しているが、館内照明が直接、装置のスクリーンにあたって画像が見にくかったため、照明を移設して見やすくする改善を行っているが、まだ改善の余地はあると考えている。

【委員】

委員から指摘があった展示室の奥の部屋が暗室になるので、そこに花火の映像装置を移設すると、明瞭な画像と迫力のある音量で楽しめるのではないかと。

【教育委員会】

委員の意見のとおり、展示室奥の部屋に移設すると映像的、音響的にもよりよい環境になると思う。

移設の可否を含めて、費用等を確認したい。

【委員】

初めて科学館を視察してみて、子どもが喜ぶ施設であると感じている。

ただ、施設内が暑い。暑い所と涼しい所が明確に分かれている。電気代も高額だと思うので、例えば、3階から上の階段などが暑いので、遮光になるようなものを貼るなどして対策してはどうか。

【委員】

今、ふしぎタワーは使えない状況か。

【指定管理者】

ふしぎタワーは、温度 30℃を目途に使用の可否を判断している。ここ数日は雨の天気だったので開放していたが、温度が上がると熱中症の恐れがあるため注意して判断している。

【委員】

館内の温度は何度くらいに設定しているのか。

【指定管理者】

26℃で設定している。

ロビー含め天井が高く広いので、なかなかエアコンが効きづらい所もある。特に階段は冷風の吹き出し口も無く暑い状況である。

【委員】

3階の展示室から天文台に上る階段が、窓からの直射日光などの影響で特に暑かったが、熱気を吸い出すような、何らかの対策はできないのか。

【委員】

暑い空気が停滞していると思うので、サーキュレーター等で空気を移動させてみてはどうか。

【教育委員会】

この施設は平成9年に建設されており、空調装置についてもその当時の気温で設計されているため、近年の高温に対応できていない状況である。

空調機器は、ガスヒートポンプ式エアコンと冷温水器で、ガスヒートポンプ式エアコンについては年次的に更新を行っており、昨年度で全機器の更新が完了したところだが、エアコンの冷房能力は変わらないため、このような状態である。

サーキュレーターの設定等、委員の意見を参考に、利用者が快適に過ごせるよう考えたい。

【委員】

3階から上の階段は利用が多いのか。

【指定管理者】

基本的に3階から上の階段は閉鎖している。今日は視察のため階段を利用したが、一般の利用者はエレベーターを利用している。

【委員】

そうであれば、空気の入替えなどを行う程度で、大規模な対策は必要ないと思われる。

話は変わるが、展示室が以前に比べ明るくなったと思う。また、展示室のむしむし展でカブト虫に直接触れられるのは子どもにとっても大人でも楽しめてよい企画だと思う。難しいと思うが昆虫の種類などを増やせばなおよい企画になると思う。

【委員】

展示室が以前は暗かったのが、今は明るくなったとの意見があったが、展示替えはいつ頃行ったのか。

【教育委員会】

平成30年度に展示室をリニューアルし、7年程度経過している。

【委員】

科学館と聞くと中高生が学ぶような内容をイメージするが、実際の科学館には中高生向けの展示などが少ないと思う。小さな子どもたちの科学の芽を育てる観点からは施設などが充実していると思うが、中高生が学べる展示などが欲しいと考える。

今回の特別展示でも、科学に関する体験は何回も繰り返し行うことができるが、科学をとおして自分のことを知ることができるような展示の設置や、展示内容を随時リニューアルしていけば、リピーターも増えもっと楽しい施設になるのではないかなと思う。

【委員】

科学館の対象年齢としては、どの年齢層を対象としているのか。

【指定管理者】

小学校就学前から小学生までの利用者が多い。科学教室もその年齢層の参加者が多く、中高生の参加者は少ない。プラネタリウムや、プラネタリウムのタペなどは、中高生の利用もある。

【委員】

10月に青少年のための科学の祭典が開催されるが、青少年の参加者は少ない。

私も科学の祭典に電気関係のブースを出展しているが中高生は誰も来ない。以前、中学校の理科教師をしていたが、中高生の子どもたちは学業などに忙しく科学館を訪れる暇がない。そうすると、幼稚園児や小学生などしか来ない。

また、FM ラジオ作成の科学教室を開催するが、こちらも中高生は来ず小学生が多いので、半田ごとの使い方から教えている。

展示を中高生向けに変えても中高生の利用者は増えないと思う。以前から「長崎市科学館」ではなく「長崎市児童科学館」とした方がよいのではないかと提案している。

【委員】

中学生は部活動等で時間がない状況は否めない。科学館からはチラシをいただいているが、配布しているのみである。

花火の炎色反応の映像装置や重力などに関する中学生向けの展示もあるので、中学校理科

部会等と協力して中学校側からのアプローチができればいいと思うが、やはり生徒たちは時間が無く難しい状況である。今後の課題としたい。

【指定管理者】

現在、職場体験という形で中学生に来ていただいている。その中でヒアリングなどを行いながら中高生の意向を聞いて対応を検討したい。

【委員】

展示室の入り口に、上野彦馬、本木昌造など長崎の先人たちの掲示があったが、展示室内にそれらの人物と関係のある展示が無いように感じた。展示パネルに記載されている内容は大人向けと思うが、科学館が実施している科学教室などで、先人たちに関連した企画を行い、子どもたちが自然に先人たちに触れる機会ができればいいと考える。

【委員】

科学とは直接関係がないが、「ガチャガチャ」を増やしてほしい。

【委員】

外部の業者が設置しているのか。

【指定管理者】

設置は委託しているが、商品の補充等は売店担当で行っている。

他施設ではガチャガチャの森などがあり、ガチャガチャは多くの種類があり人気もある。隕石や宇宙に関する商品など、種類も多くあるため検討したい。

【委員】

プラネタリウムは科学館のメイン施設の一つであると思うが、今日、視察した際には利用者が少ないようだった。

プラネタリウム投影以外で、例えば他の映像を投影するなど、プラネタリウム以外の企画として利用するなどの検討はしているのか。

【指定管理者】

去年は、ラジオ局とコラボした「星空ラジオ」や、プラネタリウム内で音楽隊による生演奏などのイベントを開催した。

また、科学捜査展に関連して、プラネタリウムでの長崎県警察音楽隊による演奏会も予定している。

時間帯や番組などによって利用者の増減はあるが、委員の指摘どおり、プラネタリウムの活用をさらに検討していく。

【委員】

既にプラネタリウムとしての利用以外での企画も実施されているという認識でよいか。

プラネタリウムは星の投影に関わらず、音響、映像施設としての総合的な使い方をしていると考えてよいか。

【指定管理者】

基本的には星を投影することとなるが、本年は、プラネタリウム内で「デンリュウ」を呼んでイベントを開催した。

【委員】

プラネタリウムでは、星空解説、宇宙や太陽系に関する番組、季節に応じた番組、宇宙に関連したアニメ番組等を投影している。年間パスポートを購入した子どもたちは全番組を見ているのではないか。

【委員】

プラネタリウムでは、大人向けとしてどのような番組を投影しているのか。

【指定管理者】

子ども向けとしては、ピカチュウとドラえもん。家族向けとしてコナンなど、大人向けとしてヒーリングアース、夏はタートルオデッセイを投影している。また、全天周映画としてオーロラを見た恐竜たちという番組を上映している。

本年は、プラネタリウム番組として6番組、全天周映画を2番組の計8種類の番組を投影することとしていて、また、併せて職員の生解説による星空解説番組も投影している。

なお、7、8月は夏休み期間中でもあり、子ども向け番組を多く投影している。

2 報告

(1) 利用料金の見直しについて

<事務局から利用料金の見直しについて説明>

【委員】

団体料金は廃止とのことだが、理由と他の施設の動向を教えてください。

【教育委員会】

団体料金については、料金の見直しの指針により、市の全施設で一律廃止との方針であったため、その方針に基づき科学館も廃止としたものである。

【委員】

市の方針に乗っかってとのことだが、科学館は修学旅行生などの団体利用が多いと考える。科学館が修学旅行生を受け入れる施設と考えれば、市民へのサービスではないが、生涯学習施設として考えるとサービスの低下につながるのではないか。その点も含めて、団体料金を廃止することとした理由を教えてください。

【教育委員会】

全庁的な方針であるが、基本的な考え方として、コストに見合った金額で算定し、適正な受益者負担に見直すという原則に従い、団体料金という割引的な取り扱いは廃止するという市の方針が示されたことによるものである。

【委員】

市内全施設同一の方針ということで理解した。

3 議事

議事(1) 令和6年度の事業報告について

<事務局と指定管理者から令和6年度モニタリング、事業報告について説明>

【委員】

モニタリング状況資料の中で、利用者からの意見が4つ記載されていた。

意見の総数と、どういう方法で徴取しているのかを教えてください。

【指定管理者】

トイレの近くにアンケートボックスの設置と、QRコードで徴取している。

【指定管理者】

科学教室やプラネタリウムのイベントでは、企画に応じてアンケートを徴取している。

資料が無く正確な数値は答えられないが、通常のアンケートの回答は月に20から30件程度である。

【教育委員会】

アンケート用紙は、項目ごとに丸をつける欄と、最後に自由記載欄がある。
市への報告は、アンケートの回答結果の集計であるが、回答数も大事であるため、今後は回答数までを報告してもらいモニタリングの対象とすることとする。
また、意見についての報告は、指定管理者が回答を施設内に掲示したものを別に提出いただいており、月に3件程度、年間で30件程度である。その他、小さな意見についてはアンケート集計結果に記載されている。

モニタリング状況資料に記載しているのは、市へ意見の報告があったもののうち、内容が多かった項目を抜粋して記載している。

【委員】

モニタリング状況資料に記載されている4件については、4人の方からの意見ではなく、例えばプラネタリウムに対する意見を集約して記載しているのか。

【教育委員会】

指摘のとおり、意見が多かったものを抜粋、集約して記載している。

その他の意見について、対応が完了したものなどについては特に記載はしていない。

【委員】

アンケート用紙での回答と、QRコードでの回答、どちらが多いか。

【指定管理者】

圧倒的にアンケート用紙での回答が多い。

子どもが記入することが多いので、どうしても書きやすい紙が多い状況である。

【委員】

アンケート等の徴取方法は多様化させていくことが重要であると考えてるので、引き続きQRコードの利用を推進していただきたい。

【委員】

年間パスポートの販売状況について教えてほしい。

【指定管理者】

8月11日現在で232名、大人が112名、子どもが120名となっている。

【委員】

他の施設と比べてどのような状況か。

【教育委員会】

年間パスポートを導入している施設としては、出島やペンギン水族館などがあるが、資料を持ち合わせていないため回答できない。

市としては、科学館で年間300件程度を想定していて、現時点での232件から考えると多い状況と考えている。

【委員】

年間パスポートの導入については、以前の科学館運営協議会でも意見として出ており、その意見で実現したのかは分からないが、ニーズがあったことが、この件数で示されていると思う。大変よい取り組みであると判断する。

【委員】

資料の利用者数を見ると、コロナの際に落ち込んだものがよくここまで回復していると思う。

私は小学生以下の子どもたちに携わっているが、この30年で長崎の子どもは半分になっている。委員の中には各学校の先生もいらっしゃり、今、児童生徒の数は減っていると

感じられていると思うが、私の感覚では、まだ数が多かった時代の世代の子どもたちが、大学生や中学生になっていると感じている。

私立幼稚園やこども園では年を追うごとに子どもが少なくなっている、地域から子どもがいなくなっている。

そのような中で利用者数を維持しているのは、すごいことだと思うのだが、これ以上増やしていくとした場合、子どもたちが何回、来館すればよいのか、限界があるのではないかと危惧する。利用料金を値上げすることで収入を確保することは当然だが、生涯学習施設として、大人も楽しめる施設としていく必要があると考える。

【委員】

科学館では、年に3回スターシップフェスタを開催しているが、学童の子どもたちが多く来場する。私もブースを出展しているが、同じ子どもが何回も来ているのではないかと感じている。

【委員】

今までは子どもが減る中でも幼稚園の園児の数は減らなかった。両親が共働きとなり預ける子どもが多い状況だったのが、今では園児が少なくなり閉鎖する園も出てきている状況である。学童も今後は同じようになるだろうと考えている。

私の園でも10年前に比べ、園児が半分になっている。科学館も今後の10年を見据えて運営する必要があると思う。

【教育委員会】

子ども向けの企画で来館者を確保している状況だが、これからは中学生、高校生や大人向けの企画を充実し広く市民の方に来館していただければと考えている。

また、常設展示の見直しの際に、対象とする年齢層の想定や、プラネタリウム番組の構成、科学教室などについても子どもから大人まで楽しんでいただけるものにしていく必要があると考えている。

【委員】

アロマプラネタリウムは、子ども参加者が無く大人の参加者のみで、プラネタリウムの自主事業の中では一番参加者が少ない。ということは、科学館が、大人も利用できる施設であるという認識が無いのではないかとと思う。

市内の小学5年生の児童は学校で必ず科学館に来るようになってる。科学館は立地条件も良く、子どもには繰り返し来館しやすい場所と考えるが、大人の方には、まだまだ認識が薄く、そこに余地があるのではないかと考えた。

【委員】

科学館の正面に看板が設置してあるが、老朽化しあまり目立たない。その前の道路は、学生や大人、バスなども通るため、科学館らしい掲示を考えた方がよいのではないかと。

【指定管理者】

最近では電光掲示板など、見やすい掲示があるが、設置には予算が必要で現実的に難しい状況である。

【教育委員会】

予算の状況等を見ながら優先順位をつけて対応したい。

議事(2) 令和7年度の事業計画について

<指定管理者から令和7年度の事業計画について説明>

【委員】

館内の Wi-Fi 設備について、現在は申請した団体に対して利用を許可している状況だと思うが、フリーWi-Fiとしての利用は検討しているか。

【教育委員会】

現状としては申請された団体等に対し使用させており、今のところ取扱いを変更する予定はない。

【委員】

科学の祭典では、昨年度から予算の削減等のため実験の手引きなどの印刷を止めて、PDF データで提供している。その際、ダウンロードが利用者の負担になっていることを問題点としている。例えば、その日だけフリーで Wi-Fi として使えるようにすることなどは可能か。

【教育委員会】

科学の祭典実行委員会として利用申請していただければ、使用は可能と判断する。

【委員】

Wi-Fi 回線の容量はどの程度か。

【教育委員会】

回線速度について資料が無いので、回答できない。

【委員】

Wi-Fi の利用者が多くなった場合、回線が飽和するのではないかと心配している。

【教育委員会】

科学館の Wi-Fi 設備については、例えば、工作室、実験室や学習室などの部屋単位で使用することを想定し整備している。展示室にも整備しているがフリーWi-Fi での使用を目的として整備していないので、利用者が一斉に利用した場合、どうなるか想定できない状況である。

【委員】

夏の特別展示「スポーツを科学する」の入場料はいくらか。

【指定管理者】

一般の大人で 800 円、子どもが 600 円、前売り券だと、それぞれ 700 円、500 円としている。

また、今回はセット券を販売していてコンビ二等で購入できるが、3 枚つづりで大人 2,000 円、子ども 1,500 円としている。今年は夏の特別展示を 3 部構成としているため、全部来ていただけるよう 3 枚セット券を販売している。

【委員】

「食の科学する」は見えていないが、「スポーツを科学する」の展示内容では、少し割高ではないかと感じた。親子 3 人で入場すると 2,000 円となり、親の感覚として高額と感じる。

【指定管理者】

指摘のとおりと考えている。

今は特別展示と常設展示を利用する場合、別々に料金を支払わなければならないので、今後は、特別展示と常設展示のセット料金の設定を検討している。

それと集客ということで話をさせていただけば、現在、ヒルトンホテルと提携した企画

を開催している。

プラネタリウム担当職員が提案した、星空をイメージしたメニューを「星空アフタヌーンティー」という名称で提供していて、食事された方に科学館のプラネタリウムチケットを配布している。また、職員がヒルトンホテルに赴き、メニューの解説などを行っている。普段、科学館に来られない方に来場していただけるような企画と考えている。

【委員】

育成協では、年に1回「子どもゆめフェスタ」を、市民会館などで実施している。今度は長崎スタジアムシティのサブアリーナで開催するが、学童、子ども会等を含めて、一番多い時は2,800名程度の子どもたちが参加している。科学館も出前サイエンス教室等を出展することで、科学館で行っていることをアピールするようなことができないか、子どもゆめフェスタという場を集客に利用していただければと思う。

子どもが減少している状況であるが、お互いに協力できればと考えている。

【委員】

市PTA連合会でも、11月30日に「スマイルみらいふえすた」を開催するので、こちらでもお互いに協力できればと思う。

【委員】

その他に意見が無いようなので、本日の議事を終了する。